

■ 最先端の知を結集！果たして“安全”は科学の力で守られるのか？■

2017年度 社会安全学部・東京連続セミナー(全10回)

「安全・安心に関わる科学技術の最前線」を開催

【日時】4月13日(木)～6月22日(木)、毎週木曜 18:15～19:45

【場所】関西大学東京センター(東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9階)

関西大学社会安全学部では、4月13日(木)から6月22日(木)の毎週木曜日に、関西大学東京センターにて、2017年度東京連続セミナー「安全・安心に関わる科学技術の最前線」を開催します。

安全・安心な社会を実現する上で、科学技術の果たす役割は極めて大きく、その発展が期待されています。一方で、科学が社会の安全の問題をすべて解決してくれるという過大な期待も慎まなければなりません。本セミナーでは、安全・安心を論じるにあたり、これまでの科学技術で「何が明らかになり、何が未解決なのか、解決の可能性はあるのか」といった本質を、防災・減災の専門家である社会安全学部教授陣が解説します。

2013年から開催している同セミナーでは、これまで「福島原発事故」「東日本大震災の復旧・復興」などをテーマに、安全・安心を創り出す上での「社会安全学」について講じてきました。また同学部では、「防災・減災」「東日本大震災の復興」「リスク管理」「事故防止」等、学部の研究・教育テーマに関連した書籍を継続的に刊行するなど、日本の防災・減災分野の教育・研究を牽引する機関として、安全・安心な社会づくりに向けた働きかけを積極的に行い、政策科学としての「社会安全学」の構築・体系化に取り組んでいます。

つきましては、告知のご掲載に関しましてご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

【日時】4月13日(木)～6月22日(木)の毎週木曜日 18:15～19:45 ※5/4(木・祝)を除く

【場所】関西大学東京センター(東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9階)

【講師】社会安全学部専任教員計10名

(主な講師)・河田 恵昭

関西大学社会安全研究センター長  
専門：防災・減災



・安部 誠治

社会安全学部長、同教授  
専門：公益事業論



・高橋 智幸

同学部教授  
専門：水災害



・永松 伸吾

同学部教授  
専門：災害経済学



【概要】科学技術が安全の問題に果たす役割について、群集行動、生体認証、地震予知、津波予測、経済分析、リスク心理、発電プラントなど様々な角度から検証し、最前線の知を紹介する。

【定員】100名(先着順) 【対象】どなたでも可 【受講料】1万円(全10回分)

【申込方法】社会安全学部ホームページ [[http://www.kansai-u.ac.jp/Fc\\_ss/](http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/)] 内の専用フォームから申込

【申込期日】3月10日(金)※定員に達し次第、受付終了

【一般のお問い合わせ先】関西大学社会安全学部 TEL:072-684-4000

以上

※本件に関する取材申込については、月ごと(3・4・5月の計3回)に別途取材案内状を送付いたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

[www.kansai-u.ac.jp](http://www.kansai-u.ac.jp)

この伝統を、超える未来を。



## ■プログラムの詳細（予定）

日程	テーマ	講師
第 1 回（4 月 13 日）	開講にあたって/安全安心社会と技術	安部 誠治
第 2 回（4 月 20 日）	群集シミュレーション～できること・できないこと～	川口 寿裕
第 3 回（4 月 27 日）	生体認証技術の現在とこれからの展開	河野 和宏
第 4 回（5 月 11 日）	地震予知の科学と防災	林 能成
第 5 回（5 月 18 日）	津波シミュレーションの最前線～多様な被災形態を予測する～	高橋 智幸
第 6 回（5 月 25 日）	災害の経済分析	永松 伸吾
第 7 回（6 月 1 日）	リスクの社会心理	土田 昭司
第 8 回（6 月 8 日）	地盤災害の予測とモデリング	小山 倫史
第 9 回（6 月 15 日）	発電プラントの安全性－技術開発の経緯と第三者検査制度の確立	小澤 守
第 10 回（6 月 22 日）	最新の防災科学技術例－自然科学と社会科学－/ 閉講あいさつ	河田 恵昭

## ■関西大学社会安全学部とは（2010 年 4 月開設）

「安全・安心をデザインできる社会貢献型の人材を育成します」

自然災害や社会災害は、普段は気がつかないような、私たちが生きる上での問題を浮き彫りにします。社会安全学部では、安全・安心というレンズを通して、私たちが生きる社会や人間、自然を洞察し、そこにある問題を解決することで、自然災害・社会災害の最小化を目指しています。

具体的には、法学、政治学、経済学、経営学、心理学、社会学、工学、情報学、理学、社会医学など、多様な学問分野による教育を展開し、また、これら既存の学問を総合して、問題を解決する能力を養います。